

大平よしのぶ元衆議院議員は9月22日から10月1日までの10日間、中国5県を回る「中国ブロックキャラバン」をおこないました(29自治体・行政区を訪問)。各地で街頭演説やシール投票対話、つどいなどが行われ、青年をはじめ多くの方と対話し、「しんぶん赤旗」の購読や、大平LINE公式への登録も広がりました。



新たな出会い 希望を広げ

日本共産党 大平よしのぶ 予定候補
中国ブロックキャラバン



どこでも「岸田さんはダメだ」「今の政治を変えたい」との声が上がり、日本共産党の「経済再生プラン」への注目と期待が寄せられました。

鳥取では米子市で青年のつどいを開催。20代から50代までの参加者は、日本の安全と日米安保・自衛隊、ハラスメント根絶、JRローカル線存続、教育の未来など多岐にわたるテーマで交流しました。「生活に困っている学生たちにこそ『投票先はある!』』ということを知らせたい。

大平さんの国会質問をもっと見てみたい」との感想も寄せられました。

広島では2日間で青年たち50人と対話。「共産党、応援しています。私学助成増やせとがんばってますよね」という大学生や「高学費のために大学進学を諦め、アパレル関係で働いているが手取りで15万円ない」と話す10代女性など。LINEでつながろう、一緒に政治を変えようと呼びかけました。教育費無償化と賃上げは本当に緊急的課題です。

TOPICS

上関に“核のゴミ捨て場”は 現地調査 & 学習会



笠井議員とともに現地調査

8日、笠井亮衆議院議員とともに、上関原発と「中間貯蔵施設」の建設予定地の現地調査を行い、地元の皆さんとの懇談では建設阻止へ力をあわせようとエール交換しました。

午後からは笠井議員を講師に「原発問題を考える学習交流会」を開催。150人が参加し、「原発に頼らなくてもやっていけることがわかり、希望が持てた」などの感想が寄せられました。

いら
ない!

原発問題を考える学習交流会

大平さん 学習会で司会を務める

力あわせて要求実現へ 広商連と懇談

7日、広島県商工団体連合会を訪問。党の「経済再生プラン」を紹介し、同会が取り組んだ会員ら2700人から実態を集めた「営業動向調査」の内容やインボイスをめぐる不安と中止へのたたかいなど伺いました。



新婦人と政府交渉

9月8日、新日本婦人の会広島県本部の子ども医療費無料化、学校給食費無償化などを求める政府交渉に同席。「小学生3人を育てているが給食費だけで年間15万円。給料一か月分にもなる」など、子育て中の会員たちからリアルな実態の告発が続き、「税金は子どもたちの安心にこそ使ってほしい」とうたったえました。



日本共産党とご一緒に政治を変えましょう。「しんぶん赤旗」拡大にご協力を。

友達募集中!

衆議院比例代表は「日本共産党」と政党名で 候補者名は無効

大平よしのぶ LINE公式アカウント

